

第6次川越町総合計画後期基本計画

施策の実績・評価

令和元年 11 月

目 次

1. 【基本方針 1】
 便利で活力のあるまちづくり…………… 1
2. 【基本方針 2】
 安全で快適なまちづくり…………… 7
3. 【基本方針 3】
 健康で安心な暮らしを支えるまちづくり…………… 19
4. 【基本方針 4】
 人と文化を育むまちづくり…………… 30
5. 【基本方針 5】
 協働による自立した地域経営のまちづくり…………… 39

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	1. 便利で活力のあるまちづくり					
基本施策	1. 市街地					
【実績等】						
(1) 魅力的な市街地の形成						
<ul style="list-style-type: none"> ・地籍調査は平成 19 年度に着手し、現在 3 地区が完了し着実に実績を積み重ねている。 						
(2) 密集市街地の改善						
<ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震補強事業（除却を含む） 実績 18 件 ・道路後退事業の申込みにより事業が確実に実施されている。 実績 61 件 						
(3) みえ川越インターチェンジ周辺の土地利用の推進						
<ul style="list-style-type: none"> ・企業を誘致するための土地として、地権者に対し、土地活用を行うための情報提供を行ったが、地権者との折り合いがつかなかった。 ・松阪競輪川越場外車券売場用地の一部について、地権者に企業を紹介し、立地に至った（平成 30 年度から町内企業が倉庫を新築）。 						
【目標指標①】 [平成 30 年度達成状況] 目標に至らず						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
地区計画の箇所数(件)	1	1	1	1	1	2
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・地籍調査は国の重点政策であり各自治会要望等により早期完了を目的に取り組みの拡大が求められる。 ・生がき設置事業制度及び木造住宅耐震補強事業(除却)並びにブロック塀等除却事業に対する認知度が低いため、継続して啓発活動を実施する必要がある。 ・みえ川越インターチェンジ付近の用地について、個別での利活用が行われ、点在していることから、一定規模の用地の確保が難しい状況。 ・土地活用を行うにあたっては、地権者の理解が必要である。 						
【施策の今後の方針】						
<ul style="list-style-type: none"> ○地籍調査は、着実に進めることが重要であるため、このペースを維持していく。 ○生がき設置事業制度及び木造住宅耐震補強事業(除却)並びにブロック塀等除却事業について、町ホームページ等で制度の周知活動を強化していく。 ○企業誘致を進めるにあたって、新規立地に係る税制優遇措置等についても検討する必要がある。 						

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	1. 便利で活力のあるまちづくり					
基本施策	2. 道路					
【実績等】						
(1) 幹線道路網の整備促進						
<ul style="list-style-type: none"> ・街路整備事業については、地元調整が難航しており、事業が進展していない。 						
(2) 町道の整備促進						
<ul style="list-style-type: none"> ・町道の道路改良事業や交差点カラー舗装整備事業は、地域と協働で事業を進めており、地域に大きく貢献している。 ・国道等については、要望した交差点改良等の事業が進められている。 						
(3) 安全・安心な歩行環境の整備						
<ul style="list-style-type: none"> ・歩道専用舗装整備事業は、平成23年度から事業を進め成果が上がりつつある。 						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況] 目標を超えた						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
交差点のカラー舗装箇所数 (箇所)	53	53	59	60	67	60
【目標指標②】 [平成30年度達成状況] 目標に至らず						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
歩行者専用舗装延長 (km)	3.8	3.8	3.8	4.2	4.2	5.6
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・高松川越海岸線の街路整備事業について、沿線者等の同意を得る必要がある。 ・既存施設の老朽化が進行しており、対策が必要である。 ・歩道専用舗装整備事業について、関係機関と協議し事業を進める必要がある。 						
【施策の今後の方針】						
<ul style="list-style-type: none"> ○街路整備事業は、沿線者の同意がまとまり次第、四日市市とともに事業を推進していく。 ○道路の拡幅については、道路後退に併せて整備を進めていく。 ○既存施設の維持管理及び必要に応じて2次改修を実施していく。 ○歩行者等の通行頻度の高い幹線道路や通学路等を優先的に、歩道整備、カラー舗装等の交通安全対策などの良好な歩行環境を整備していく。 						

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	1. 便利で活力のあるまちづくり					
基本施策	3. 公共交通					
【実績等】						
(1) バス運行の充実						
<ul style="list-style-type: none"> ・バス老朽化による車両の買い替え、バス停2カ所の追加を行った。 ・利用者のニーズに対応した運行ダイヤの見直しを行っているが、利用者は、多少の変動はあるものの、年々増加している傾向にある。(平成28年度の利用者は25,004人、平成29年度の利用者は24,775人、平成30年度の利用者は25,665人、平成31年度の9月までの利用者は11,729人) ・県と市町地域づくり連携・協働協議会(地域会議)の検討会議において、広域的な公共交通について、調査・研究を行っている段階である。 						
(2) 快適に移動できる交通環境の推進						
<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺地区整備事業に伴い、道路カラー舗装及び歩道専用舗装を施工し、駅へのアクセスに大きく貢献している。 ・近鉄川越富洲原駅駐輪場の管理をことぶき人材センターへ委託している。 						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況]						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
ふれあいバスの利便性の満足度(%)	24.0	—	—	—	—	40
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが利用しやすいバスとなるよう路線や運行ダイヤの充実、利用者ニーズの把握等を行い、バス利用の促進を図る必要がある。 ・現状、ふれあいバスを運行しているが、町内2台2路線での運行であり、移動手段としては制限があるため、小型バスを使用して、利用頻度の多いバス停をピックアップしての運行や、デマンドタクシー等効率的な移動手段の導入を検討する必要がある。 ・バス維持管理費用が高額であるため、新たなバスの利用形態の構築を検討する必要がある。 ・バスの老朽化に伴い、将来的に車両の更新時期にむかえるにあたり、新車両の購入が必要となる。その際に今後の社会環境の変化や様々な利用者のニーズに対応した新車両を検討する必要がある。 ・今後は、地元自治会と協議し、さらなる歩行空間の拡大をしていく必要がある。 ・川越富洲原駅周辺の放置自転車対策等を含め、駐輪場のあり方の検討が必要である。 						
【施策の今後の方針】						
<ul style="list-style-type: none"> ○誰もが利用しやすいバスにするため、毎年、利用者などからの意見や運行ニーズの把握に努め、運行ダイヤなどの見直しを検討していく。 ○他市町の状況からもデマンドタクシーなど、住民のニーズに合った新たな交通手段についても検討していく。 						

- 通行頻度の高い駅への道路を優先的に、歩道整備、カラー舗装等の交通安全対策など、良好な歩行環境の整備を進めていくとともに維持修繕を行っていく。
- 川越富洲原駅周辺の駐輪場の有料化を含めて、今後の整備について検討していく。

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	1. 便利で活力のあるまちづくり					
基本施策	4. 農漁業					
【実績等】						
(1) 生産基盤の保全						
・老朽化した農業用排水路施設の改修・修繕を随時行い十分な成果を上げている。						
(2) 生産体制の充実						
・生産体制強化事業については現状維持ではあるものの、地域の特性にあう農業を目指し生産体制の強化を行っている。						
(3) 農漁業経営への支援						
・ふれあい広場の野菜売場の改修工事を実施した。						
・漁業については、事業規模が縮小傾向にあるが、漁港機能を維持できるよう航路浚渫・港内整備工事等必要に応じて実施している。						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況] 目標に至らず						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
農業生産組織数 (団体数)	1	1	1	1	1	2
【施策の今後の課題】						
・築30～40年を経過する農業用排水路施設が多くあり、今後大規模な改修が求められる。						
・いきいき農園開設事業については過去の実績が少ないため、制度の周知が必要である。						
・農家の後継者や担い手が町内では、なかなか見つけることができないため、町外も含めた確保策を検討する必要がある。						
・改修工事を行ったふれあい広場の運営委員会は高齢化が進んでおり、今後の運営体制が課題となる。						
・漁港管理事業については、係留漁船等の台帳整備がされていないことが課題となっている。						
【施策の今後の方針】						
○地元関係者と協議しながら必要に応じて効率的な改修・修繕を行っていく。						
○いきいき農園の開設事業について、制度の周知を行っていく。						
○生産体制の強化事業について、町内外問わず担い手を見つけて農地を集積し、農地所有者とのパイプ役となる集落営農組織を検討していく。						
○ふれあい広場の朝市が継続して開催されるよう、支援について検討していく。						
○漁港管理事業については、係留漁船等の台帳を整備し、適切な漁港管理を行っていく。						

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	1. 便利で活力のあるまちづくり					
基本施策	5. 商工業					
【実績等】						
(1) 新たな企業誘致の推進						
<ul style="list-style-type: none"> 企業立地に関する問い合わせは数件ある。工業団地についても空地はなく、近年、入れ替わりもない状況である。 						
(2) 工業の振興						
<ul style="list-style-type: none"> 厳しい経済情勢の中、商工会加盟社数の減少はさほどないことから、商工会と連携した取り組みは、一定の効果は得られていると思われる。 						
(3) 商業の振興						
<ul style="list-style-type: none"> 厳しい経済情勢の中、商工会加盟社数の減少はさほどないことから、商工会と連携した取り組みは、一定の効果は得られていると思われる。 						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況] 目標を超えた						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
商工業社数 (朝明商工会加盟社数)	510	510	510	526	537	536
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> みえ川越インターチェンジ付近の用地について、個別での利活用が行われ、点在していることから、一定規模の用地確保が困難となってきた。 商工会の役割は大きく、今後も支援を継続して行っていく必要があるが、活動の展開や行政との連携を図り、効果を上げていく必要がある。 						
【施策の今後の方針】						
<ul style="list-style-type: none"> ○企業誘致を進めるにあたって、引き続き、情報提供に努めるとともに、新規立地に係る税制優遇措置を検討していく。 ○地域の活性化や中小企業の育成・発展を図るため商工会の役割は大きく、その活動には町も商工会との連携を深め、今後も支援していく。 						

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	2. 安全で快適なまちづくり					
基本施策	1. 公園緑地					
【実績等】						
(1) 公園緑地（子ども広場等）の保全						
<ul style="list-style-type: none"> 平成 20 年以降に子ども広場が各地区で整備（1 反程度の公園を自治会で整備）され、全地区で一定の範囲内で公園緑地が整備された。 毎年、子ども広場について要望があれば、その要望に対して対応が必要かを検討し、必要があると判断されたときは改善に向けて整備等を行ってきた。 						
(2) 水と緑のネットワークの形成						
<ul style="list-style-type: none"> 臨港道路霞 4 号幹線整備事業が完了し、高松海岸堤防（朝明川右岸側）に駐車場とトイレが整備され、高松海岸が利用しやすく（路上駐車が減った）なった。また、環境学習施設（ベンチと看板）も整備された。 						
(3) 魅力的な景観づくり						
<ul style="list-style-type: none"> 緑地景観を保持するため、定期的に剪定等の維持管理を実施した。 魅力的な景観づくりを目指すため、水仙普及事業（球根を町施設や団体へ配布）を行った。 						
【目標指標①】 [平成 30 年度達成状況] 目標に至らず						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
公園緑地の面積 (ha)	4.76	4.76	4.76	4.76	4.76	15.00
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> 遊具等が安全に使用できるよう引き続き、保守管理等適正な維持管理を行っていく必要がある。 高松海岸堤防の駐車場・トイレの適正な維持管理を行っていく必要がある（ことぶき人材センター（シルバー）に委託）。 高松海岸を含め、自然（緑）の保全が必要である。 防除活動の際に周辺住民とのトラブルが発生することがある。 						
【施策の今後の方針】						
<ul style="list-style-type: none"> ○公園、高松海岸の各施設の維持管理を適正に行っていく。 ○防除等作業前における周辺住民とのトラブル回避のための事前周知の徹底を行っていく。 						

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	2. 安全で快適なまちづくり					
基本施策	2. 河川・海岸					
【実績等】						
(1) 河川環境の整備						
<ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年度から河川の機能に大きな障害が生じる箇所から順番に整備しており、概ね雑木など大きな障害物を除去し、成果を出している。 朝明川については、土砂の撤去に関して一通り完了した。 						
(2) 海岸の整備・保全						
<ul style="list-style-type: none"> 臨港道路霞 4 号幹線整備事業が完了し、高松海岸堤防（朝明川右岸側）に駐車場とトイレが整備され、高松海岸が利用しやすく（路上駐車が減った）なった。また、環境学習施設（ベンチと看板）も整備された。 						
【目標指標①】 [平成 30 年度達成状況] 目標どおり						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
河川敷の雑木撤去率 (%)	70	70	70	75	90	100
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> 県が河床の浚渫を継続的に実施していく上で、土砂の処分地を適切に確保する必要がある。 生活環境の整備と自然環境の保護を両立できるよう考える必要がある。 高松海岸堤防の駐車場・トイレの適正な維持管理を行っていく必要がある（ことぶき人材センター（シルバー）に委託）。 海浜植物や希少生物も高松海岸に生息していることから、高松海岸の環境保全を行っていく必要がある。 						
【施策の今後の方針】						
<ul style="list-style-type: none"> ○地域からの河床浚渫の要望も強いため、県に対して土砂の受入れなどを協力し、継続的な実施を要望していく。 ○高松海岸の利用施設の維持管理を継続していく。また、地域住民や活動団体の活動を促進し、適正な維持、保全を図っていく。 						

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	2. 安全で快適なまちづくり					
基本施策	3. 上下水道					
【実績等】						
(1) 安定した水の供給						
<ul style="list-style-type: none"> ・朝明配水場から川越町全域を担う水道基幹管路の一部について耐震化を実施した。 ・老朽化した水道管の耐震管への布設替を順次進めており、今後も計画的に布設替を進めていく必要がある。また、末端管のループ化については、今後計画的に実施していく予定である。 						
(2) 雨水排水の整備						
<ul style="list-style-type: none"> ・川越町の生命線である川越排水機場の施設の健全性を維持するため、ストックマネジメント計画を策定した。 ・当新田雨水幹線周辺の雨水幹線計画の見直しを行った。 ・老朽化している川越排水機場のベルトコンベアの修繕を行った。 ・調整池の護岸矢板を耐震化するとともに、貯留能力を高めるため、調整池の拡張を行った。 						
(3) 下水道事業の安定化						
<ul style="list-style-type: none"> ・避難所から県の幹線下水道に接続する汚水管渠の耐震化（汚水管継手の可とう化、マンホールの浮上防止対策等）を実施した。 						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況] 目標どおり						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
雨水面整備進捗状況 (%)	84	84.2	84.4	84.8	85.3	86
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道施設の老朽化や耐震化等の課題に対し、経営戦略等に基づく計画的な事業の実施が必要である。 ・上下水道事業の安定的で健全な経営及び施設の更新や耐震化に対する財源の確保として、経営戦略等に基づく計画的な上下水道料金の見直し等を検討する必要がある。 ・住民ニーズに合わせた納付方法を拡大し、収納率の一層の向上を図ることが必要である。 						
【施策の今後の方針】						
<ul style="list-style-type: none"> ○経営戦略等に基づき、安定した水の供給や雨水・汚水排水の機能維持に努め、災害に強い上下水道の構築を図るため、適切な施設の維持管理や管路の耐震化を計画的に進めていく。 ○下水道事業会計が令和5年度に公営企業会計化することから、適正な投資計画と財政計画を策定していく。 ○安定的で健全な経営のため、水道の有収率の向上や適正な料金設定、収納方法の多様化等を検討していく。 ○災害時の応急給水体制を強化していく。 						

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	2. 安全で快適なまちづくり					
基本施策	4. 防災・減災					
【実績等】						
(1) 水害対策の推進						
<ul style="list-style-type: none"> ・ハード面においては、海岸・河川堤防に関し、臨港道路霞4号幹線整備に伴い、新たな堤防の整備や、朝明川において堤防内側の計画的なコンクリート張り及び嵩上げ整備により、津波・高潮・洪水対策が図られた。 ・豊田地区に、一次避難場所を兼ね備えた新たな水防倉庫の建設を行い、朝明川右岸の新たな拠点施設（食糧や資機材等）の整備を行った。 ・川越町の生命線である川越排水機場の施設の健全性を維持するため、ストックマネジメント計画を策定した。 ・当新田雨水幹線の計画を見直し、整備を行っている。 ・調整池の護岸矢板を耐震化するとともに、貯留能力を高めるため、調整池の拡張を行った。 ・最大規模の降雨を想定した洪水ハザードマップを作成し、啓発を行った。 						
(2) 地震・津波対策の推進						
<ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅の耐震事業については申込件数が少しずつではあるが増加している。 ・ブロック塀等の除却に対する補助事業を開始し、危険なブロック塀等の除却が行われた。 						
(3) 防災体制の強化						
<ul style="list-style-type: none"> ・風水害等に関しての避難は、事前準備による自主避難が重要なことから、その情報となる、河川水位が目視でわかるよう、町ホームページでの画像配信を行うほか、行政情報メール配信サービスを開始し、避難の呼びかけ、早期避難所開設を行うことにより、自主避難者数が以前より多くなっている。 ・これまでは、①防災行政無線、②防災行政無線個別受信機、③町ホームページ、④ケーブルテレビ、⑤広報紙が住民への情報伝達手段であったが、平常時、緊急時でも情報発信できるメール配信事業を実施した。平成30年6月現在、登録者数：517名（各カテゴリ計：1,918名）、令和元年6月現在、登録者数：2,047名（各カテゴリ計：5,745名） ・新たな想定に伴うハザードマップ（津波・洪水）と、各家庭で行う防災冊子が一体となった防災マップを作成した。（外国語版（英語、中国、ポルトガル語）も作成） 						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況]						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
水害対策に対する満足度 (%)	18.4	—	—	—	—	40.0
【目標指標②】 [平成30年度達成状況] 目標に至らず						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
防災行政無線個別受信機設置率 (%)	41	39.7	39.2	38.8	38.3	65

【施策の今後の課題】

- ・防災・減災対策を進めるには、自助・共助・公助それぞれの立場で役割を果たすことが必要であるが、災害発生前及び直後においては、自助・共助の力が特に重要となる。
- ・近年の異常気象による集中豪雨等を考えると、避難行動要支援者等を中心に、早めの避難行動を行う必要がある。
- ・木造住宅の耐震化等について、広報やホームページで周知しているが、制度の新設や変更等に関する情報の周知が十分でない。
- ・様々な媒体を提供することにより、行政からの情報を得られるツールを1つでも多く確保してもらえよう、啓発等を含め、取り組みが必要である。

【施策の今後の方針】

- 河川整備においては、朝明川堤防コンクリート化の早期整備や両河川の土砂浚渫や雑木撤去など、適正な河川管理を進めていく。
- 自助・共助の防災力向上に向け、各地区自主防災組織の活性化が必要である。より多くの地域で自主防災組織が中心となった独自の訓練が実施されるよう推進していく。
- 特定避難困難地域における避難施設（津波避難タワー）の整備を進めていく。
- 木造耐震化制度の周知を行っていく。
- 若い世代をターゲットとした情報伝達手段（SNSなど）の導入や、新たなツールの導入など、費用と効果の両面から検討していく。
- LINEのチャット機能など配信主体の運用から、情報を受信し、収集できる体制を検討していく。

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	2. 安全で快適なまちづくり					
基本施策	5. 交通安全・防犯					
【実績等】						
(1) 交通安全意識の高揚						
<ul style="list-style-type: none"> ・四日市北地区交通安全協会川越支部と協力し、交通事故防止及び交通安全啓発のための街頭指導や交通安全教室などを行っているが、事故発生件数は並行しており、交通安全思想のさらなる普及・啓発が必要である。 						
(2) 交通安全施設の整備						
<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯、カーブミラー、カラー舗装などの交通安全施設について、関係団体等と連携して危険箇所を把握し、効果的に設置するとともに、老朽化したものや破損したものについては、取り替えや修繕等、整備を進めている。 ・防犯灯についてはLED化を図り、防犯灯の長寿命化や環境面に配慮した整備を行っている。 						
(3) 防犯対策の推進						
<ul style="list-style-type: none"> ・四日市北地区防犯協会と協力し、住民に対する防犯の啓発活動を行っている。 ・他市町で振り込め詐欺等の事件が発生した場合には、情報を共有し、住民に対し迅速に情報を発信している。 ・空家対策事業（補助事業）を開始したが、利用に至っていない。 						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況]						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
交通安全対策の満足度 (%)	19.7	—	—	—	—	40.0
【目標指標②】 [平成30年度達成状況]						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
防犯対策の満足度 (%)	15.6	—	—	—	—	40.0
【目標指標①】 [平成30年度達成状況] 目標どおり						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
防犯灯LED化 (%)	53.0	72.0	89.0	98.0	98.8	100.0
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全及び防犯については、施設面の整備だけでなく、交通安全・防犯思想の普及が必要であり、どのように効果的に啓発するかを検討する必要がある。 ・町内の交通事故防止や通学路における子どもの安全対策として学校や教育委員会、警察等と連携した更なる安全施設の整備や事業を検討する必要がある。 ・防犯対策についても、未成年、女性、高齢者を中心に防犯意識の向上を図るための事業を検討する必要がある。 						

- ・空家等の問題については、新たな空家等をどのように早期に発見するかを検討する必要がある。また、空家等の発生を抑制するため、住民の空家等に対する意識啓発を行うとともに、空家対策事業（補助事業）の利用を促すために、制度の認知度を高める必要がある。

【施策の今後の方針】

- 交通安全及び防犯について、今後も安全で安心して暮らすことのできるよう、取り組みを強化していく。特に子どもと高齢者の交通事故防止を中心に安全施設の整備や啓発活動の活発化、交通安全学習の機会の増加を進めていく。
- 防犯協会や警察、自主防犯隊と連携し、防犯設備の設置や啓発活動の増加を進めるとともに、警察と防犯カメラの情報を共有し、防犯対策を行っていく。

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	2. 安全で快適なまちづくり					
基本施策	6. 消防・救急					
【実績等】						
(1) 常備消防体制の充実						
<ul style="list-style-type: none"> ・四日市市へ消防・救急業務を委託し、消防・救急体制の一層の充実を図っている。 ・常備消防に関しては、無線のデジタル化や新たな指令センターを開設し、消防、救急体制の充実を図った。 						
(2) 消防団組織の充実						
<ul style="list-style-type: none"> ・消防団の処遇改善として、費用弁償の見直しや、消防基準に合わせた活動服の更新を行った。 ・平成 28 年には、消防団、自主防災組織、女性消防隊、町内土木事業社による水防訓練、平成 31 年には消防団単独で、朝日川越分署職員指導による水防訓練を行った。 						
(3) 救急体制の充実						
<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度に高規格救急車の更新を行い、救急体制の充実を図った。 						
【目標指標①】 [平成 30 年度達成状況]						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
消防・防火対策の満足度 (%)	27.0	—	—	—	—	40.0
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の確保及び活動技術の向上が必要である。 ・消防・救急車両の迅速な出動及び、火災現場での消防団との連携強化が必要である。 ・消防団使用車両等設備の更新が必要である。 						
【施策の今後の方針】						
○災害時対応の中核組織としての活動も期待される消防団組織として、消防団の訓練の充実強化を行い、資質向上に努めていく。						

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	2. 安全で快適なまちづくり					
基本施策	7. 公害					
【実績等】						
(1) 環境監視体制の充実						
<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、事業所に対し水質検査・臭気検査を定期的を実施し、数値に異常が見つかった場合は指導等を行い、環境汚染の防止を図っている。 ・騒音についても町内複数箇所騒音測定を行い、住環境の整備に努めている。 						
(2) 公害防止の推進						
<ul style="list-style-type: none"> ・公害防止協定を締結することにより、公害防止や発生時の迅速な対応ができており、地域環境が守られている。 						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況] 目標を超えた						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
公害に関する相談・苦情解決率(%)	92.0	94.0	96.0	93.0	99.0	95.0
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・公害に関する相談・苦情の解決には科学的な知識が必要であり、専門性が高い問題の発生に対処するためにも、職員の資質向上や測定機材の充実、また、関係機関との連携が必要である。 ・公害のない安全なまちづくりのための有効な事業を検討する必要がある。 						
【施策の今後の方針】						
○相談・苦情の解決に努めるとともに、現在の方針内容を維持し、公害のない住みやすいまちづくりを進めていく。						

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	2. 安全で快適なまちづくり					
基本施策	8. ごみ					
【実績等】						
(1) ごみ収集環境とごみ処理体制の充実						
<ul style="list-style-type: none"> 各地区において、ごみステーションを設置し、ごみ置き場の集約を進めた。 環境クリーンセンターにより一般廃棄物の適正な処理がされている。 						
(2) ごみ減量とリサイクルの推進						
<ul style="list-style-type: none"> 生ごみの拠点回収事業については、令和元年度に南福崎地区で開始したことから、町内全 10 地区において実施されることになった。拠点回収された生ごみから作られた堆肥を無料で町民に提供している。 						
(3) 不法投棄の防止						
<ul style="list-style-type: none"> 環境パトロールを行うとともに、監視カメラの設置を行った。また、不法投棄をしないように促す看板を設置した。 						
【目標指標①】 [平成 30 年度達成状況] 目標に至らず						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
一般ごみ収集箇所数 (箇所)	430	430	430	430	450	430
【目標指標②】 [平成 30 年度達成状況] 目標どおり						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
ごみ総排出量 (t)	3,272	3,246	3,220	3,194	3,196	3,123
【目標指標③】 [平成 30 年度達成状況] 目標どおり						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
リサイクル率 (%)	26	27	27	27	22	28
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> 循環型社会に向けた各種取り組みの重要性を再認識し、いかにコストをかけずに町民に周知・啓発していくかを検討する必要がある。 						
【施策の今後の方針】						
<p>○生ごみや剪定枝、草などの堆肥化をはじめとしたごみの減量化の推進、ごみ環境に対する学習機会の提供、環境クリーンセンターによる効率的な収集やリサイクルの推進などを積極的に行い、住民の環境意識の向上を促し、ごみの排出量減少、再資源化などによる循環型社会の構築を進めていく。</p>						

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	2. 安全で快適なまちづくり					
基本施策	9. 環境共生					
【実績等】						
(1) 新エネルギーの活用推進						
<ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの活用を推進するため、住宅及び事業所に設置する太陽光発電システムや低公害車の購入に対して助成を行っているが、これらの制度は町民に周知されており、一定の成果をあげている。 						
(2) 環境エコライフの促進						
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校及び中学校でそれぞれ環境学習に取り組んでいるが、出前講座などの環境学習については実施できていない。 ・災害発生時等による停電に備え、太陽光発電システム等の自立運転機能を住民同士で提供しあう共助の仕組みとして、「支えあいまちづくり登録制度」を推進した。 						
(3) 環境共生のまちづくり						
<ul style="list-style-type: none"> ・町内にはホテルの育成に取り組む団体などが設立されるなど、町内で生物多様性の確保に向けた取り組みが行われつつある。 						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況] 目標に至らず						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
太陽光発電システム設置補助累計件数(件)	248	280	307	333	351	420
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習については実施できていないため、教育委員会、環境学習センターと連携して進める必要がある。 ・現在の補助制度等については、他の新エネルギー等の需要に合わせて補助制度の見直しを行う必要がある。 ・住民の環境意識向上のため、さらに啓発活動を進める必要がある。 						
【施策の今後の方針】						
<ul style="list-style-type: none"> ○住民の環境意識が向上するよう啓発を図っていく。 ○環境学習について、子どもから大人まで楽しんで学べるような場所や情報の提供を進めていく。 						

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	2. 安全で快適なまちづくり					
基本施策	10. 消費生活・労働環境					
【実績等】						
(1) 消費者安全の確保						
<ul style="list-style-type: none"> 三重県消費生活センターと連携した消費者ホットライン等の相談窓口の設置や高齢者に向けた啓発資料の配布により、消費者問題の解決、未然防止に取り組んでおり、一定の効果を上げている。 						
(2) 労働環境の向上						
<ul style="list-style-type: none"> 商工会と連携して実施する研修事業は、労働条件の向上や休業制度の普及啓発のため、事業者に対して研修を行った。 ことぶき人材センター事業において、高齢者が就労を通じて地域でいきいきと活動できる場を提供している。 						
(3) 福利厚生の実施						
<ul style="list-style-type: none"> 勤労者住宅・生活資金貸付事業については、制度改正により、生活安定と福祉向上を目的とした制度となったため利用実績があった。 						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況] 目標どおり						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
労働環境の向上に向けた研修年間開催数(回)	2	2	2	2	3	3
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> 消費者トラブル等の多様化や増加に伴い、住民にとってより身近な市町での対応が求められていることから、本町においても相談窓口のきめ細やかな対応が必要である。 ことぶき人材センター事業について、活動範囲の拡大と会員の増加が必要である。 勤労者住宅・生活資金貸付事業は、事業を広く周知する方法を東海労働金庫と検討する必要がある。 						
【施策の今後の方針】						
<ul style="list-style-type: none"> ○トラブルを未然に防ぐため、様々な消費者情報を継続して積極的に提供していくとともに、専門的で困難な事案に対応するため、関係機関との連携強化に取り組んでいく。 ○研修事業は朝明商工会や関係機関とさらに連携を深めながら、効果的な事業を検討していく。 ○ことぶき人材センターの安定した運営の確保と、活動範囲の拡大を行っていく。 ○勤労者住宅・生活資金貸付事業の周知方法については、協調融資先の東海労働金庫と協議し、制度の周知に努めていく。 						

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	3. 健康で安心な暮らしを支えるまちづくり					
基本施策	1. 保健・医療					
【実績等】						
(1) 健康づくりの推進						
<ul style="list-style-type: none"> 健康体操のDVDを作成し、町内の関係団体等に配布を行った。また、YouTubeに健康体操の動画をアップロードし、町ホームページからの閲覧ができるようになった。各小学校の運動会や町民運動会で健康体操を実施するとともに、ふれあい祭では中学校の吹奏楽部の演奏に合わせて実施している。また、町内の企業にPRを行い、2社が朝のラジオ体操の代わりに取り組んでいる。 						
(2) 疾病予防の推進						
<ul style="list-style-type: none"> 各種検診事業は受診率が横ばいの状態である。 特定保健指導は、診療所にて結果返却時に初回面接をすることで保健指導受診率を維持している。 						
(3) 母子保健の充実						
<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期からの繋がりを重視し、全ての出生児と母親との関わりが持てた。乳幼児健康診査については、未受診者フォローを重点的に行い健診受診率向上に繋げた。 						
(4) 感染症予防の推進						
<ul style="list-style-type: none"> 各種予防接種事業については、国の動きに合わせた情報提供や接種勧奨を実施し、接種率の向上を図った。 						
(5) 精神保健の充実						
<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりにおいて中心となって活動している健康かわごえ推進協議会に対し、メンタルパートナー研修を実施した。 						
(6) 地域医療体制の充実						
<ul style="list-style-type: none"> 川越診療所において、町から委託されている国保日帰り人間ドック、胃・肺・超音波検診を実施した。 						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況] 目標に至らず						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
特定保健指導参加者数 (人)	56	42	31	34	38	120
【目標指標②】 [平成30年度達成状況] 目標に至らず						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
がん検診の平均受診率 (%)	35.7	17.7	17.6	17.8	16.9	40.0

【施策の今後の課題】

- ・町民の健康体操に対する知名度を上げるため、さらに多くの世代に周知を行っていく必要がある。
- ・重症化予防にあたり、患者の病状を維持、改善するため、かかりつけ医と糖尿病専門医・腎臓専門医と行政が連携し、受診率を上げる必要がある。
- ・母子保健の充実については、養育支援が必要なケースの増加に伴い、訪問、乳幼児健診事業での早期介入に努め、個々のニーズに合わせた支援体制を強化し、虐待防止に努める必要がある。
- ・各種予防接種事業においては、国、県、近隣市町の動向を踏まえ、必要な予防接種を実施する必要がある。
- ・自殺を未然に防げるよう、地域全体で支えていくことが必要である。男性では20歳～59歳までの働き盛り世代、女性では60歳～69歳の世代の自殺が多く、特に対策していく必要がある。

【施策の今後の方針】

- 健康体操をきっかけに町民の健康づくりに対する意識を向上していけるように更なる周知を目指して取り組んでいく。
- 糖尿病性腎症の重症化を予防し、健康寿命の延伸と医療費の適正化を目指す。
- がん検診については、現計画では受診率をトータルの平均で算出しているが、各検診での受診率に差があるため、検診毎に受診率を算出し、課題の解決に向け取り組みを進めていく。
- 母子保健の充実については従来の訪問、乳幼児健診事業に加え、平成31年度より子育て世代包括支援センター事業の一環として産婦健診・産後ケアを開始しており、より支援体制を強化し、虐待防止に努める。
- 各種予防接種事業は、新たに定期接種及び助成事業に追加となったワクチン等について、順調に接種を進めてもらえるよう努めるとともに、感染症予防のために、今後必要な予防接種を検討していく。
- 第3次三重県自殺対策行動計画と川越町の現状を踏まえ、川越町の自殺死亡率を令和5年度までに12.5人（人口10万対）以下という水準になるよう自殺予防に関する施策に取り組んでいく。

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	3. 健康で安心な暮らしを支えるまちづくり					
基本施策	2. 地域福祉					
【実績等】						
(1) 地域福祉活動の推進						
<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の活動状況や地域の福祉課題を把握し、地域福祉活動への取り組みの核となる地区社協との連携を進めた。 ・地域福祉活動の担い手の養成及び地域福祉活動の取り組みが進んでおり、その中で支え合いの機運も高まってきている。 ・地区福祉活動計画を策定中の地区が6地区あり、今後増える見込みである。 						
(2) 地域福祉の担い手の育成						
<ul style="list-style-type: none"> ・「地区福祉活動計画」の策定が完了した地区も出てきており、これを通して新しい住民活動が生まれるなど、地区において地域福祉の機運づくりができつつある。 ・ボランティア連絡協議会加入団体に活動資金の助成を行い、ニーズ把握等の活動支援を行うとともに、ボランティア活動に参加するきっかけづくりとして、ボランティア養成講座を開催した。また、ボランティアを講師に迎え、小学生向け体験教室を開催した。 ・ボランティア連絡協議会加入団体は、令和元年現在15団体（登録者数193人）。 ・生活介護サポーターの新規サポーター養成講座、福祉協力員の新規協力員の養成講座を実施し、生活介護サポーターは令和元年現在141名、福祉協力員は、令和元年現在53名。 						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況] 目標を超えた						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
ボランティア連絡協議会の登録者数(人)	150	190	193	198	188	186
【目標指標②】 [平成30年度達成状況] 目標を超えた						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
福祉協力員(人)	0	0	27	45	41	40
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の推進地区の育成には時間を要するため、より効果的な運営を検討していく必要がある。 						
【施策の今後の方針】						
○地域福祉活動促進事業や推進地区育成事業を拡大・継続し、地域でともに助け合い、支え合う地域を形成していく。						

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	3. 健康で安心な暮らしを支えるまちづくり					
基本施策	3. 子育て支援					
【実績等】						
(1) 保育サービスの充実						
<ul style="list-style-type: none"> ・低年齢児を対象にした保育を平成 22 年度及び平成 25 年度に公立保育所 2 か所において拡大し、保育需要に対応した。 ・保育所及び児童館における防犯対策の一環として、平成 30 年度に防犯カメラを設置した。 ・保育所の防災対策の一環として、3 歳以上児及び保育士のライフジャケットを各保育所（園）に配備した。 						
(2) 子育て支援サービスの充実						
<ul style="list-style-type: none"> ・一時預かりは事業の周知が進み利用者が増えたが、定数を超える利用申込みがあり、利用が制限されたことがある。 ・小学校就学前までの子どもを対象に、三重郡、四日市市、桑名市、木曾岬町にある医療機関等での受診時に、医療費を現物給付する「福祉医療費の現物給付化」を平成 30 年 4 月から実施した。 						
(3) 子どもの居場所づくり						
<ul style="list-style-type: none"> ・児童館の安全対策の一環として、つばめ児童館において平成 29 年度に事務所窓口の大型化等の工事、平成 30 年度にフェンス設置等の工事を実施した。 						
(4) 児童虐待の防止						
<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に子どもに対する虐待など不適切な事案が多くみられ、川越町においても養育環境等への支援が必要な家庭が増加している。 						
【目標指標①】 [平成 30 年度達成状況] 目標に至らず						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
保育所待機児童者数 (人)	0	0	0	0	3	0
【目標指標②】 [平成 30 年度達成状況] 目標に至らず						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
地域子育て支援センタ ー利用者数 (人)	8,150	7,077	8,495	7,094	6,228	8,500
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・保育所及び児童館における防災対策にあたり、防犯カメラが正常に稼働するよう、適正な維持管理を行う必要がある。 ・保育所における防災対策にあたり、0～2 歳児用のライフジャケットのサイズがなく、配備できていないため、代替品等の検討が必要である。また、災害時にスムーズに着用できるよう、避難訓練等で繰り返し使用していく必要がある。 ・保育ニーズに対応するため、保育士の確保や適正配置に努める必要がある。 ・幼児教育・保育の無償化に伴う教育・保育ニーズの変化や動向を踏まえ、認定こども園について検討する必要がある。 ・子どもに対する虐待や家庭における DV など不適切なケースに適切に対応するため、児童虐待対策事業を一層充実させていく必要がある。 						

- ・ 0歳から中学3年生までの途切れのない発達支援に特化した体制づくりが必要である。

【施策の今後の方針】

- 福祉医療費の現物給付化について、現状の小学校就学前から対象年齢の引上げ等を検討していく。

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	3. 健康で安心な暮らしを支えるまちづくり					
基本施策	4. 高齢者福祉					
【実績等】						
(1) 介護保険事業の推進						
<ul style="list-style-type: none"> ・配食サービスや緊急通報装置は高齢者の見守りとしてある程度定着している。 ・生活・介護支援サポーター養成事業は、実践につながることを目的とし、プログラムを展開し活動できた。子育て支援センターやおひさま児童館との交流も行った。 						
(2) 高齢者福祉サービスの充実						
<ul style="list-style-type: none"> ・町内 10 地区の公園等に高齢者遊具（ちょいとれだんだん、ストレッチベンチ）を設置した。 						
(3) 高齢者の生きがいづくりの推進						
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が人と交流できる老人福祉センターは年間延べ2万人近い利用者がある。 ・ことぶき人材センターは就労を通じて地域でいきいきと活動できる場を提供している。 						
(4) 介護予防の充実						
<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業へ参加している方について、一定の効果が得られている。 						
【目標指標①】 [平成 30 年度達成状況]						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
高齢者福祉施策の満足度 (%)	30.0	—	—	—	—	35.0
【目標指標②】 [平成 30 年度達成状況] 目標どおり						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
居宅介護及び地域密着型サービス受給者数 (人)	291	272	287	289	280	300
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・生活・介護支援サポーターの活動の場として、サロン活動だけでなく高齢者の困りごとに応えられる環境を整えることが必要であり、広く地域における福祉活動への参画も視野に入れた取り組みが求められる。また、サポーターの高齢化が進んでいるため、多世代へ広げることを検討する必要がある。 ・緊急通報装置は設置数が増加せず、今後、独居・高齢者世帯が増えることが予想されている中で、制度の周知以外にも、緊急通報自体の取り組みを再検討する必要がある ・公園等に設置した高齢者遊具の維持管理のため保守点検が必要である。 						

- ・高齢者が地域でいきいきと活動し、生きがいを持って過ごせるような環境づくりと、介護が必要とならならないように心身の衰えを予防するため、ことぶき人材センターの活動拡充に向けた支援を検討する必要がある。
- ・運動機能向上事業（かわごえパワーステーション）には支援が必要と思われる方の参加が少ないため、取り組みを継続しながら、参加者を募る工夫が必要である。

【施策の今後の方針】

- 生活・介護支援サポーターの活動分野を広げ、民生委員や福祉協力員とも連携することにより高齢者の困りごとに応えられる環境を整え、また広く地域における福祉活動への参画も視野に入れた体制を整えていく。
- 地域包括ケアシステムの構築を図るため、このシステム構築に見合った事業展開を行っていく。
- 高齢者遊具の利用者の増加を図るとともに、地域における繋がりを広めていく。
- ことぶき人材センターの安定した運営と、より自主的な活動を行っていくための支援を検討していく。

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	3. 健康で安心な暮らしを支えるまちづくり					
基本施策	5. 障がい者福祉					
【実績等】						
(1) 日常生活支援						
<ul style="list-style-type: none"> ・安心して日常生活を営むことができるように、障害者総合支援法に基づいた必要なサービス量の確保に努めるとともに、相談支援体制の充実に努めた。 						
(2) 自立と社会参加						
<ul style="list-style-type: none"> ・障害者就労環境整備においては、平成28年度から障害者の就労機会の創出をテーマとして、庁内（福祉課・産業建設課・企画情報課）での連携を進め、平成29年度に障害者就労環境整備事業計画策定委員会を設置した。 ・障害福祉サービス就労系事業所、三重大学特別支援教育教授、農業協同組合等を含むメンバーにより、平成29年～30年度の2か年にわたって農福連携の事業モデルを検討し、施設の方向性、品種・生産方法の選定、施設管理・運営体制を取りまとめた。 ・障害のある人からの就労相談が増えており、関係機関と連携し、「働きたい気持ち」を大切にしながら、個々の状況に応じた支援を展開している。 						
(3) 居住施設等支援						
<ul style="list-style-type: none"> ・安心して暮らすことができるよう、相談体制を充実し、適切なサービス提供のために関係機関と連携し、取り組んだ。 						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況] 目標を超えた						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
就労支援サービス利用者数 (人)	26	30	31	31	38	30
【目標指標②】 [平成30年度達成状況] 目標を超えた						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
居住施設への入所者数(人)	13	13	16	19	25	20
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、障害福祉サービスの必要量を確保するとともに、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の動向を見据えながら障害福祉施策を推進していく必要がある。 ・障害者就労環境整備事業の実施に向けて、①障害のある人が働きやすい環境の実現、②地域への溶け込み、③農業に対する指導体制の確立、④採算性の確保、⑤運営主体の選定の5点が課題であり、特に⑤運営主体の選定については、安定的な経営を行う一方で、公的な事業を実施できる主体を公正な方法で選定することが求められる。 						

- ・発達課題の認められる子どもは年々増加傾向にあるため、早期対応、療育環境の整備が引き続き必要であり、一貫した支援を行うため、支援情報の円滑な引継ぎ体制の整備が必要である。また、障害の多様化に伴い教育の専門性の向上が求められる。
- ・障害のある人及びその家族が、住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、施設・病院から地域生活への移行を支援するための体制づくりや必要な居住支援サービスの支給量の確保が必要である。特に障害のある人の高齢化及び親の高齢化によるケアの体制などの変化や「親亡き後」を見据え、緊急時にすぐ相談でき、必要に応じて緊急的な対応ができる体制整備が必要である。
- ・障害のある人の自立のためには、就労機会を確保することが必要であり、関係機関との連携を強化し、支援体制の充実を図るほか、障害のある人の雇用への理解を深めるため、広く住民や企業などに向けた広報、啓発活動が必要である。

【施策の今後の方針】

- 四日市障害保健福祉圏域で構成する自立支援協議会において、必要なサービス量を確保していくため、地域資源の開発等に取り組み、サービス提供水準の底上げをしていく。
- 障害者就労環境整備事業については、用地選定、農作物の試行栽培の規模拡大、施設内における作物の育成を行うとともに、障害者就労を進めていくため、障害者の特性に応じた作業の確認や施設規模、バリアフリー、安全対策等を見極める調査を継続していく。
- 乳幼児健康検査、各種相談、教室等発達障害を含めた障害の早期発見に努めるとともに、関係機関と連携をとりながら、早期から一貫したきめ細やかな支援、巡回指導、相談等の支援の充実に努めていく。
- 地域移行を希望する施設入所者の把握に努め、安心した地域生活のためのニーズの把握と相談支援を行っていく。
- 障害者雇用を促進するため、関係機関との連携を強化し、支援体制の充実や、一人ひとりの希望や障害の状況に応じた一般就労への支援を行うとともに、企業に対し、障害者雇用に関する情報提供等、働きかけを行っていく。

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	3. 健康で安心な暮らしを支えるまちづくり					
基本施策	6. ひとり親家庭					
【実績等】						
(1) 自立の支援						
<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭は増加傾向にあり、厳しい経済状況に置かれている家庭も少なくないため、ひとり親家庭等への医療費助成や高等学校等通学費援助金支給を行うことにより、経済的に負担の軽減が図られている。 						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況]						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
なし						
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭等を支援していく上で、町独自の事業として自立に向けた有効な手立てがないため、県と自立支援に向けた役割と事業の検討が必要である。特に自立支援制度のさらなる充実、子育てと仕事が両立しやすい環境整備等が必要となる。 						
【施策の今後の方針】						
<p>○ひとり親家庭が増えている状況で、自立に向けた支援が必要であるが、有効な手立てがないため、県と連携を図りながら有効な事業を検討していく。そのため、ひとり親家庭が抱える支援ニーズや多様な課題等に対応できる支援メニューを、個々の家庭の実情に応じて適切に組み合わせて検討できよう相談支援体制を充実させていく。</p>						

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	3. 健康で安心な暮らしを支えるまちづくり					
基本施策	7. 社会保障					
【実績等】						
(1) 国民健康保険制度の健全化						
<ul style="list-style-type: none"> ・滞納整理システムを活用した財産調査を進め、収納率は大幅に向上し、95%を超える結果となった。 ・特定健診では、健診実施期間中の8月及び11月に受診勧奨ハガキを送付しているが、受診率の目標値には到達していない。 						
(2) 低所得者の自立支援						
<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮に陥っている方からの相談を受け、食料支援、就労支援、住居確保支援などを行っている県社会福祉協議会での生活困窮者自立支援制度の概略説明及び案内及びその窓口となっている町社会福祉協議会に相談者を案内し、相談内容等をつないだ。その中で、生活保護の受給が必要と判断される場合は、生活保護の実施機関である北勢福祉事務所へ当相談内容をつなぎ、生活保護申請の手続きを進めた。 						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況] 目標どおり						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
国民健康保険税収納率 (現年度分) (%)	94.0	93.90	95.70	96.10	95.71	96.0
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・滞納整理システムを活用し、財産調査から滞納処分を含めた徴収をさらに効率的に行う必要がある。 ・特定健診を受診していない理由を把握し、未受診者へ効果的な受診勧奨を行えるよう、通知だけでなく、電話や訪問等、受診勧奨方法や内容の見直しを行うことが必要である。 ・生活困窮に係る相談は、増税等の影響で増加傾向にあり、相談者が困窮に至った経緯は多種多様で、様々な要因が考えられる。そのため、一人ひとりの相談内容すべてを聞き取り、把握し、調査するには、時間を要するため、相談員一人では対応しきれない場合があり、相談体制の見直しを行うことが必要である。 						
【施策の今後の方針】						
<ul style="list-style-type: none"> ○滞納整理システムを活用し、財産調査から滞納処分を含めた徴収の取り組みの効率化を図り、収納率の更なる向上・未済額の減少を目指していく。 ○特定健診未受診者の受診をしない理由を分析し、特定健診の必要性に対する意識が高まるよう、効果的な受診勧奨を行っていく。 ○生活困窮に係る相談は、多種多様で、様々な要因が考えられる。その要因を聞き取りした上で、対象者が必要とし、かつ受けることができる支援を考え、提案していく。 						

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	4. 人と文化を育むまちづくり					
基本施策	1. 学校教育					
【実績等】						
(1) 一人ひとりが大切にされる教育の充実						
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力充実非常勤講師や支援員を適切に配置し教育内容の充実を図っている。 ・平成 29 年度から豊かな心を育成する 3 つの事業を通し、子どもたちの道徳心や将来の夢の創造、読書習慣の定着を図っている。 ・平成 31 年度から ALT を 1 名増員し、両小学校にそれぞれ 1 名の ALT を配置している。 						
(2) 教師の学びを支える研修の充実						
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員に対して、教職員研修会、研究実践校への研究費補助など、多様な形態の研修を実施している。 						
(3) 信頼される園・学校づくりの推進						
<ul style="list-style-type: none"> ・学校自己評価を実施するとともに、学校評価関係者会議委員による学校評価を実施し、評価結果の分析及び改善策を立案している。 						
(4) 園・学校施設の整備・充実						
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化が進む中、効率的かつ効果的な手法を検討しながら改修等を実施していく必要がある。平成 30 年度に川越北・南小学校空調設備設置工事を実施し、近年の猛暑や熱中症に対応した環境整備（川越町内学校の普通教室の空調設備設置率 100%）を行った。 						
(5) 就学前教育の充実						
<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度から保育所（園）・幼稚園に ALT を派遣し、町内の就学前の子ども達が早い段階で英語のシャワーを浴びる環境を整え、英語に対する苦手意識を無くし、いわゆる『英語耳』を育てている。 						
(6) 学校給食の充実						
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校については、デリバリー方式による給食を平成 23 年度から委託により実施している。 						
【目標指標①】 [平成 30 年度達成状況] 目標を超えた						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
授業に対する満足度 (%)	71	71	78	75	82	75
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・給食センターについては、給食センター運営委員会で民営化に向けての検討を行うなど、給食センターのあり方を検討する必要がある。 ・中学校の建て替えなどの整備計画を策定する必要がある。 ・幼児教育・保育の無償化に伴う教育・保育ニーズの変化や動向を踏まえ、認定こども園について検討する必要がある。 ・0 歳から中学 3 年生までの途切れのない発達支援に特化した体制づくりが必要である。 						

【施策の今後の方針】

○平成 31 年度より、川越町（新）教育基本方針がスタートしており、家庭や地域の協力のもと、各校園での「豊かな心」を土台とした教育を実現させるための非認知能力を育成していく。

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	4. 人と文化を育むまちづくり					
基本施策	2. 生涯学習					
【実績等】						
(1) 生涯学習プログラムの充実						
<ul style="list-style-type: none"> ・住民の多様な学習意欲に即した学習機会を提供するとともに、愛好会等に活動の場を提供した。 						
(2) 生涯学習施設の充実						
<ul style="list-style-type: none"> ・総合センターのトイレの改修設計、総合センター外壁等調査改修を実施したほか、あいあいホールの長寿命化を視野に入れた施設全体の改修調査や改修計画を立案した。 						
(3) 図書機能の充実						
<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い年齢層の方に読書や学習機会を提供するため、蔵書の充実を図った。 						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況] 目標に至らず						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
生涯学習講座受講者数 (人)	650	616	627	599	553	700
【目標指標②】 [平成30年度達成状況] 目標を超えた						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
図書貸出冊数(冊)	72,702	76,283	79,508	83,572	83,025	75,000
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに応じた多様な講座や教室を開催するために、講師の確保が必要である。 ・中央公民館のバリアフリー化が求められているが、老朽化が進み、既存施設での対応に限界が生じている ・あいあいセンターは経年劣化で老朽化しているため、計画的に対応する必要がある。 ・図書室の閲覧場所が狭く、蔵書を保管する開架・閉架スペースが不足しており、スペースの確保が必要である。 						
【施策の今後の方針】						
<ul style="list-style-type: none"> ○講座や教室に必要な講師の確保・育成を進めていく。 ○あいあいセンターは中長期計画に基づき、施設改修を進めていく。 ○各施設の老朽化に対応するため、機能の複合化を検討していく。 ○図書室は狭いながらも特色を出しており、利用を促進していく。 						

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	4. 人と文化を育むまちづくり					
基本施策	3. 生涯スポーツ					
【実績等】						
(1) スポーツ活動の推進						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会主催の大会数は、一部競技連盟が体育協会を脱退したため減少したが、大会開催日の増加やその他の体育協会行事については各地区体育会長の働きかけにより、参加チーム数は増加傾向にある。 ・ プロ選手によるスポーツ教室（サッカー、バレー）を開催し、スポーツ人口の拡大と技術向上を図るとともに、プロ選手との交流機会を提供した。 						
(2) スポーツ施設の充実と利用促進						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合体育館のトイレについて、洋式化を中心としたバリアフリー対応、ユニバーサルデザイン化を実施し、多様な利用者が快適に利用できるようになった。 						
(3) 指導者・リーダーの育成と充実						
<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ推進委員が各種軽スポーツ教室やウォーキングイベントを開催した。 						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況] 目標に至らず						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
体育協会大会数(回)	22	22	22	19	20	22
【目標指標②】 [平成30年度達成状況] 目標どおり						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
スポーツ施設利用者数 (年間延数)(上段:団体 数 下段:人)	3,841 団体 15,275 人	3,466 団体 16,211 人	3,448 団体 18,336 人	3,108 団体 17,213 人	3,175 団体 17,392 人	3,940 団体 15,900 人
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民全体の健康づくりのため、体育協会主催の大会やFAGクラブ主催のレクリエーションの参加者が新たなスポーツ人口の拡大につながるようなメニューを提供する必要がある。 ・ スポーツ施設の老朽化対策、総合体育館のバリアフリー化や非構造部材の耐震化等による施設の適切な保守が必要である。 ・ スポーツ推進委員が主催するイベントを持続的で広がりのあるものにしていくため、新たな担い手の確保が必要である。 ・ 体育協会役員の高齢化、新たな役員の担い手不足により大会の運営が困難となっており、新たな担い手の確保が必要である。 						

【施策の今後の方針】

- スポーツ推進委員による地域の軽スポーツの振興、体育協会主催の大会の充実など、参加者、参加チームが増える企画を計画し、多くの住民がスポーツに親しみ、親睦と融和が図れるようにしていく。
- スポーツ施設の計画的な設備更新、施設改修による長寿命化対策について検討していく。

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	4. 人と文化を育むまちづくり					
基本施策	4. 地域文化					
【実績等】						
(1) 文化活動の推進						
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽や演劇等を公演し、多様な芸術・文化にふれる機会を提供し、高い満足度を得た。 ・ふれあい祭の日に文化発表会として舞台発表や趣味の作品展を開催し、参加者の活動意欲向上に努めた。 						
(2) 文化財の保存・伝承						
<ul style="list-style-type: none"> ・「広報かわごえ」や「情報満載かわごえ」、各種講座等で町の歴史や学校教育で活用できる資料の提供を呼びかけ、伊勢湾台風に関する写真等を含む新たな資料の提供を受けた。 ・文化財に関する講座や、伊勢湾台風 60 年にあわせて企画展及び夏休み子ども教室「伊勢湾台風から考えてみよう」を実施するなど、町の文化財や歴史について住民に興味・関心をもってもらえる機会を作った。 						
【目標指標①】 [平成 30 年度達成状況] 目標どおり						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
自主公演の満足度 (%)	91.0	93.0	94.4	95.5	97.8	100
【目標指標②】 [平成 30 年度達成状況] 目標どおり						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
郷土資料数 (点)	1,097	1,119	1,148	1,191	1,134	1,200
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・芸術・文化の愛好者の高齢化による活動規模の縮小、活動人口が減少傾向にある中、新たな活動人口を増やし、愛好会等の活動意欲を高める方策を考える必要がある。 ・郷土資料館は老朽化が進み、収蔵資料を見学する機会が提供できない状態にあり、新たなスペースの確保が必要である。 ・町の歴史を伝える資料の滅失を防ぐため、指定文化財だけではなく、古文書や民具などの資料を保存・収集していく必要がある。 ・伊勢湾台風を後世に伝えるための資料の絶対的な少なさ、体験者の高齢化による記憶の風化などにより資料の収集が難しくなっているため、引き続き、資料提供の呼びかけを行っていく必要がある。 						
【施策の今後の方針】						
<ul style="list-style-type: none"> ○自主公演事業の内容の充実を図っていく。 ○教室・愛好会等の文化団体の活動成果を発表する機会を充実し、文化活動への参加者を拡大していく。 ○町の文化や歴史を伝える資料の保存・収集と文化財の保護を行っていく。 ○貴重な郷土資料の保管・展示スペースを確保していく。 ○伊勢湾台風に関連する資料や体験談の聞き取りへの協力者募集の呼びかけを行い、伊勢湾台風に関する情報を収集・蓄積していく。 ○伊勢湾台風に関する写真や資料をまとめた冊子等の刊行を目指していく。 						

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	4. 人と文化を育むまちづくり					
基本施策	5. 青少年健全育成					
【実績等】						
(1) 青少年育成団体の活動推進						
<ul style="list-style-type: none"> ・三世代ふれあい活動を各地区で実施し、子どもと地域の大人の交流の場の提供により、青少年の健全な育成環境を推進している。 ・青少年の健全育成を目的とした青少年育成指導員、青少年育成町民会議、子ども会、スポーツ少年団の活動を促進した。 						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況] 目標に至らず						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
青少年育成活動参加者数(人)	1,850	1,694	1,731	1,778	1,838	2,000
【目標指標②】 [平成30年度達成状況] 目標に至らず						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
子ども会会員数(人)	1,227	1,296	1,299	1,286	1,268	1,500
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会では保護者の理解が得られず加入しない傾向があるため、保護者の理解が深まるように、活動を工夫し、活動風景を周知する必要がある。 ・地域との関係が希薄な住民も増えていることから、子どもと地域の大人との交流を深め、地域で子どもを見守る体制を構築できるような活動を充実する必要がある。 ・スポーツ少年団の活動場所の調整・確保及び団員数の減少が課題となっている。 ・地域の青少年の健全な育成環境を維持・促進するため、新たな担い手の確保が必要である。 						
【施策の今後の方針】						
<ul style="list-style-type: none"> ○青少年育成団体の事業内容を工夫し、活動風景を周知するなどして地域の理解を深め、活動を促進していく。 ○地域の青少年の健全な育成環境を維持・促進するため、新たな担い手を確保していく。 						

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	4. 人と文化を育むまちづくり					
基本施策	6. 人権尊重					
【実績等】						
(1) 人権対策の推進						
<ul style="list-style-type: none"> ・住民の方の人権意識を高めるため、人権学習会を開催した。 ・町内小学5・6年生を対象に人権に関するポスターを募集し、学校における人権学習の内容について理解の定着を促進した。 ・人権擁護委員による人権相談を毎月1回実施しているが、年間の相談件数は比較的少ない状況にある。このほか、6月1日の「人権擁護委員の日」及び12月4日～10日の「人権週間」に合わせ、特設人権相談を実施し、人権問題などで悩んでいる人の相談に応じるとともに、法務局や人権擁護委員、県と協働により近鉄川越富洲原駅において街頭啓発活動を行っている。 ・川越ふれあい祭において、人権ぬりえコーナーの設置及び人権に関するリーフレットや啓発物品を配布して、人権啓発を行った。 ・町広報紙及び行政番組による人権啓発を行った。 						
(2) 男女共同参画社会の推進						
<ul style="list-style-type: none"> ・アイリスかわごえ、アイリスあさひ、朝日町と連携し、男女共同参画連携映画祭を行うなど、啓発活動を実施している。平成30年度には、DV及びヘルプマークについての講座を実施した（町単独）。 						
(3) 多文化共生の推進						
<ul style="list-style-type: none"> ・川越町においても外国人居住者が増えている状況があり、お互いの文化、言葉を共有し、今後のコミュニティ形成に繋げることを目的に国際交流事業を実施した。 						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況] 目標に至らず						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
人権学習会参加者数 (人)	134	95	122	95	126	250
【目標指標②】 [平成30年度達成状況] 目標を超えた						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
本町の各種委員会における女性委員の割合(%)	18.2	23.5	23.5	23.5	26.4	25.0
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・人権学習会への参加者は地区役員等が多く、子どもやその親の世代が極端に少ないため、参加者を拡大する方策を検討する必要がある。 ・男女共同参画の目線による防災・減災対策（女性目線での避難所運営など）が必要である。 ・多様化する人権課題について取り組みを行っていく必要がある。 						

【施策の今後の方針】

- 人権学習会の広報活動に力を入れる一方で、開催日を平日から土日、時間帯を夜から昼間へと開催方法の変更を検討し、各地区の参加者数増加を目指していく。
- 三重県等が開催する人権研修に積極的に参加し、スキルアップを図るとともに、啓発活動の実施により相談窓口の周知を行っていく。
- 男女共同参画社会の実現への取り組みとして、アイリスかわごえなど関係団体と連携しながら、継続的に取り組んでいく。
- 災害発生時に必要となる情報を多言語で発信するなどの取り組みを進めていく。

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	5. 協働による自立した地域経営のまちづくり					
基本施策	1. 地域活動					
【実績等】						
(1) 地域活動の促進						
<ul style="list-style-type: none"> 地域活動の活性化のための自治会の活動支援を行い、自治会活動は活発に行われている。 						
(2) 協働のまちづくりの推進						
<ul style="list-style-type: none"> ボランティア団体の活動拠点を整備し、活動の活性化に取り組んだ。 						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況]						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
地域活動に参加している割合(%)	43.3	—	—	—	—	70.0
【目標指標②】 [平成30年度達成状況] 目標に至らず						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
ボランティア団体・NPOの数(団体数)	16	16	16	16	16	20
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> 自治会を除き、自主的な活動を行う団体等に対する補助制度など、支援する制度が無いため、今後、担い手を増やし、活動を活性化させていくためには、支援体制を整備していく必要がある。 						
【施策の今後の方針】						
<ul style="list-style-type: none"> ○自治会活動を継続していくために、活動支援を続けていく。 ○活動の担い手を増やし、活動を活性化させていくための制度を検討していく。 						

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	5. 協働による自立した地域経営のまちづくり					
基本施策	2. 広報・広聴					
【実績等】						
(1) 広報・広聴活動の充実						
<ul style="list-style-type: none"> これまで、①防災行政無線、②防災行政無線個別受信機、③町ホームページ、④ケーブルテレビ、⑤広報紙が住民への情報伝達手段であったが、平常時、緊急時でも情報発信できるメール配信事業を実施した。平成30年6月現在、登録者数：517名（各カテゴリ計：1,918名）、令和元年6月現在、登録者数：2,047名（各カテゴリ計：5,745名） 						
(2) 情報公開						
<ul style="list-style-type: none"> 町政に対する住民の理解を深め、開かれた行政を実現するために、公文書の公開を行っている。 						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況]						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
広報・情報公開の満足度 (%)	33.7	—	—	—	—	40.0
【目標指標②】 [平成30年度達成状況] 目標に至らず						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
防災行政無線個別受信 機設置率 (%)	41	39.7	39.2	38.8	38.3	65
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> メール配信事業は、情報伝達手段としての位置づけでもあることから、一定の登録者を確保しておく必要があり、普及・啓発等の継続的な取り組みが必要である。 新たな発信手段が開発されることも想定されるため、ニーズに応じた（それぞれの世代に応じた）情報伝達手段を提供する必要がある。 行政が保有している情報をオープンデータ化し、公開していく取り組みが求められる。 						
【施策の今後の方針】						
<ul style="list-style-type: none"> ○若い世代をターゲットとした情報伝達手段（SNSなど）の導入や新たなツールの導入など、費用と効果の両面から検討していく。 ○LINEのチャット機能など、配信主体の運用から、情報を受信し、収集できる体制を検討していく。 						

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	5. 協働による自立した地域経営のまちづくり					
基本施策	3. 行財政運営					
【実績等】						
(1) 行政改革の推進						
・第6次川越町総合計画後期基本計画に基づき、各施策、事業を推進した。						
(2) 財政の健全化						
・新地方公会計導入については、平成29年度において目標を達成している。						
(3) 住民サービスの向上						
・平成28年度（一部システムについては、マイナンバー制度対応のため、平成26年度に先行導入。）に第5次総合行政情報システムの導入等を行った。						
(4) 職員の資質の向上						
・職員の段階別研修の計画的実施、人事評価制度の本格的導入を進め、成果を上げている。						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況]						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
窓口など行政サービスの満足度 (%)	38.3	—	—	—	—	40.0
【目標指標②】 [平成30年度達成状況]						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
効率的な行財政運営の満足度 (%)	16.0	—	—	—	—	40.0
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> ・次期総合計画の策定にあたり、現行計画の進捗状況、課題等を的確に把握し、計画策定に生かしていく必要がある。 ・マイナンバー制度の開始もあり、個人情報保護に関する意識が高まっていることから、情報セキュリティ対策を実施し、適正な運用を行っていく必要がある。 ・専門別研修については、学ぶ意欲のある職員の裾野を広げ、さらに多くの職員が向上心を持って研修を受講するという意識の改革を図る必要がある。 						
【施策の今後の方針】						
<ul style="list-style-type: none"> ○各施策・主要事業の必要性と進捗状況を評価し、事業内容の見直しと予算への反映に繋げる仕組みを検討していく。 ○更なる業務の効率化を図るため、RPAやAIの活用など、新たな技術の導入も検討していく。 ○自治体クラウドの導入など、今後の情報システムの検討を行っていく。 ○職員の資質向上に向け、若手・中堅職員への働きかけを強化し、研修の充実を図っていく。 						

第6次川越町総合計画後期基本計画の施策毎の実績・評価

基本方針	5. 協働による自立した地域経営のまちづくり					
基本施策	4. 広域連携					
【実績等】						
(1) 広域行政の充実						
<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度に平成32年度までの四日市広域緑の基本計画を策定した。 四日市地区広域市町村圏協議会やFUTURE21北勢において、広域的なまちづくりや行政課題について、情報交換や調査・検討を進めている。 						
(2) 広域連携の推進						
<ul style="list-style-type: none"> これまでの交流等を基に、今後の具体的な交流に向けて「新潟県聖籠町・三重県川越町 友好交流都市協定に基づく交流の基本方針」（平成31年4月12日策定）を策定した。 						
【目標指標①】 [平成30年度達成状況]						
指標名	現状値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 H32
広域行政で処理している事務事業件数(件)	15	15	15	15	15	➔
【施策の今後の課題】						
<ul style="list-style-type: none"> 多様化する行政サービスや住民ニーズに対応していくには、経費等も勘案し、広域行政における行政事務も検討する必要がある。 基本方針を策定したが、具体的な事業は未定であることから、引き続き、両町で協議を進めながら、計画的に実施する必要がある。 						
【施策の今後の方針】						
<ul style="list-style-type: none"> ○多様化する住民ニーズに対応していくには、広域行政も一つの大きな手法となることから、引続き、広域連携についての検討・協議を行っていく。 ○基本方針に基づき、新潟県聖籠町との交流事業を検討していく。 						